**MICRO**
HOME MADE 家族

ヒップホップグループ「HOME MADE 家族」のMC、リードボーカル。'16年末にグループの無期限活動休止後、ソロ活動を開始。刈谷市出身で、公演や楽曲提供など精力的に活動している

巻頭特集

#カリソンプロジェクト

# 刈谷のうたをみんなで作ろうみんなで歌おう

市制施行70周年・青年会議所設立60周年の合同特別企画で発足した「#カリソンプロジェクト」。

刈谷市出身のアーティスト、「HOME MADE 家族」MICROさんが

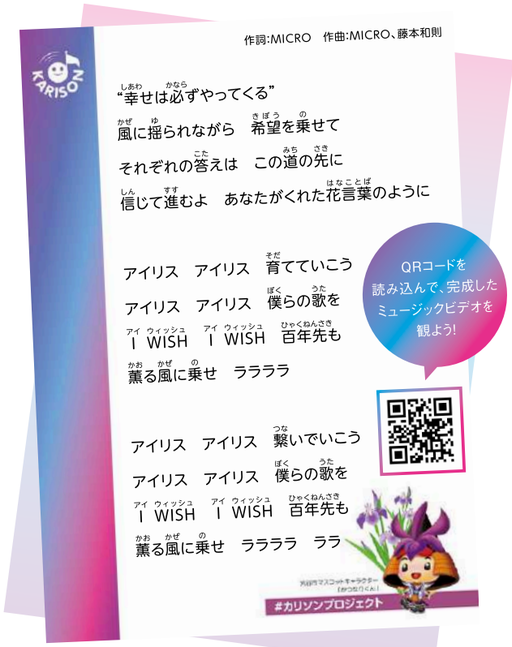
楽曲をプロデュースし、“刈谷のうた”が誕生しました。

## 離れていても繋がり合える刈谷のうたを作ろう

10月下旬、生まれたばかりの刈谷のうた『アイリス～希望の花言葉～』のレコーディングが刈谷市総合文化センターアイリスで行われました。作詞作曲・監修は刈谷市出身のアーティスト、「HOME MADE 家族」MICROさんです。パフォーマーやプロデューサーとして多忙な日々を送りながらも、気持ちはいつも生まれ育った場所にありました。

刈谷市市制施行70周年と刈谷青年会議所設立60周年の節目を迎える2020年。数年前からさまざまなイベントや記念催事が計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、実現不可能となりました。記念すべきこの年に、市民が繋がり合うことができないかと考案されたのが「#カリソンプロジェクト」。集わなくても進行でき、離れていても繋がり合える「歌」を市民の手で作り上げるプロジェクトです。

「子どもたちに歌ってもらうことを目的に、大人になっても歌える曲を作ろうと思いました。刈谷市で生まれ育った人間として、故郷で歌い継がれる曲をプロデュースできるのは幸せです」とMICROさん。家族や友達、故郷への愛と感謝を歌い続けてきたMICROさんらしい楽曲が完成しました。優しくもメッセージ性の高い歌詞と耳に残るメロディーライン。子どもから高齢者まで、ふと口ずさめる1曲です。




## 市民参加型のプロジェクト聴いて歌って繋がろう

「地域の絆・家族の絆」をテーマに、市民が参加できるプロジェクトとして始動。青年会議所の実行委員会が主導して市内の小学6年生までを対象にキッズボーカルを募集しました。市にゆかりのある人なら誰でも応募できる写真や動画を集め、ミュージックビデオを制作。投稿されたすべての動画は実行委員会とともにMICROさんも目を通しています。「やる気満々の子どもたちが一生懸命に歌ってくれていて、本当にかわいかった」と目を細めるMICROさん。オーディションで選ばれた11人がメーンボーカルを務めています。

楽曲のテーマである「幸せは必ずやってくる」は、市の花カキツバタの花言葉です。歌詞に登場する「アイリス」も同様のあやめ科で、刈谷市総合文化センターの愛称にもなっています。「刈谷市ゆかりの花や場所を、曲をきっかけに再確認してもいいます。「無料で乗れるバスや充実した設備がある総合運動公園、レコーディングもできる文化センターがあるまちなんて、全国を回っていても稀だと思います。すべての世代に優しくて便利。この充実したまちをもっと使って、もっと楽しもう!」少年のような笑顔からは、「このまちが好き」の思いが溢れています。

音楽はその時の風景やそこに吹く風、匂いまでも思い起こさせるもの。この歌に慣れ親しんだ子どもたちが大人になって思い出すのは、家族の絆と描いた夢、自分を育んだ優しいまちの風景であるように。それぞれが紡いだ思い出が、場所も時間も超えてこの曲で繋がり合えるようにと作られた歌を、聴いて歌って、プロジェクトに参加してみてください。

コロナ禍の制限がある中でリモートでの会議を重ね、プロジェクトを進行しました

新型コロナ感染拡大の影響で制限がある中だからこそ感じられる絆があります。ぜひ、『アイリス ～希望の花言葉～』を聴いて歌って、プロジェクトに参加してください

刈谷青年会議所
理事長
カリソンプロジェクト
実行委員
**岡本 知樹さん**

## 住む人に優しいまち大好きな故郷を胸に

音楽活動で地元から離れることが多いMICROさん。外から見た刈谷市は「誰にでも優しいまち」だといいます。「無料で乗れるバスや充

❷

❶

❶レコーディング前日に合同練習を実施。MICROさんが子どもたちの緊張をほぐし、終始和やかな雰囲気に　❷ランドマークで動画を撮影し、刈谷市ならではのミュージックビデオに仕上がりました

文／横井淑乃　写真／刈谷青年会議所提供、森澤直人　デザイン／chica